

令和2年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

<教育方針>
豊かな情操と気品ある人格を育み、これからの社会を支える健全な精神を持つ若者を育成する。
「情操」とは、美しいものや優れたものに対して素直に感動できる心。相手の良いところに気づき、相手を敬うことができる力
「気品」とは、落ち着いた振舞い、優しい気持ちで人と接することのできる精神的な美しさ

<夕陽丘教育の4つの柱>
1 自ら考え、行動できるように自主自律の心を育む学校
2 幅広い教養を身に付け、一人ひとりが自己実現を達成できる力を養う学校
3 国際的視野をもち、社会の変化に対応できるグローバル人材を育成する学校
4 国内最高レベルの音楽教育を推進する学校

2 中期的目標

- 全ての教育活動に「自主・自律」、「グローバル」の観点を取り入れる。
 - 3 S K【SEIRI、SEITON、SEISOU、KIKIKANNRI】で学力向上と働き方改革を推進する。
- 1 豊かな人間性の涵養と「自主・自律」の心を育む
(1) 基本的生活習慣を確立し、学業及び行事に主体的・協働的に取り組む。
ア 学生自治を基本に、学校生活・行事・部活動に主体的・協働的に取り組み、快活な学生を育てる。 自己診断生徒 90% (H29:92.6%,H30:89.1%,R1:93.6%)
イ 身近な事柄を通じて、他者理解や思いやりの心など豊かな人間性を身に付ける。 自己診断生徒 90% (H29:94.8%,H30:94.3%,R1:96.0%)
ウ 道徳教育推進教師を中心に、道徳教育の充実を図る。 自己診断生徒断 80% (H29:77.8%,H30:76.9%,R1:85.3%)
- (2) 学校、保護者、地域が一体となって安心安全で温もりのある学校・街づくりに参画する。
ア 「こころの再生」にかかるあいさつ、学校・地域のクリーンアップ、高齢者施設、病院との交流活動を行う。 自己診断生徒 95% (H29:91.1%,H30:88.2%,R1:95.1%)
イ 教育相談・支援体制を充実させるとともに、家庭、専門人材、外部機関等と連携し、生徒一人ひとりに応じた教育活動を推進する。 自己診断生徒 85% (H29:80.7%,H30:75.5%,R1:82.5%)
ウ 「夕陽丘高校いじめ防止基本方針」に基づき、学校全体でいじめの未然防止、早期発見・早期解決に取り組む。 自己診断生徒 90% (H29:84.8%,H30:81.6%,R1:86.0%)
エ 防犯・防災を含む危機管理体制、3 S Kを日常化し、安心安全な教育環境を整える。 自己診断生徒 90% (H29:85.0%,H30:81.8%,R1:85.9%)
- 2 基礎学力を充実させ、「夢」や「志」を育み自己実現を達成できる力を養う
(1) 新学習指導要領を見据えたカリキュラム・マネジメントを確立し、「確かな学力」を育成する。
ア 総合的な探究の時間「夕陽学」を軸に、各教科・行事等の教育活動をつなぎ、学校における「協働」を実現する。 自己診断教員 90% (H29:73.3%,H30:83.9%,R1:84.0%)
イ 新学習指導要領を見据えた教育課程の編制と授業の充実を図る。 自己診断教員 85% (H29:74.1%,H30:78.6%,R1:80.0%)
ウ BYOD に取り組み、「主体的で対話的な深い学び」の実現と授業改善につなげる。 自己診断教員 95% (H29:100%,H30:96.4%,R1:94.0%)
- (2) 系統的にキャリア教育を推進し、進路目標を明確にし、実現につなげる。
ア 各学年の生徒に応じた進路の取組みを行う。 自己診断生徒 80% (H29:82.5%,H30:78.8%,R1:80.3%)
志望校決定率 60%以上 (R166.3%)、国公立・関西5私大(関関同立近大)200名合格 (R1:268名)
イ 3 S Kで学力向上と働き方改革を推進する。
- 3 国際的な視野を広げ、グローバルに活躍できる人材を育成する
(1) 海外研修や授業等を通じて、多様性を理解するとともに、自身のキャリアデザインを考える。
ア 海外修学旅行、ニューヨーク語学研修、ウィーン音楽研修を継続発展する。
イ グローバルに使える力として多様性・英語の4技能をバランスよく育成する。
英語学力調査のスコア R4:65%、英検合格 R4:40名 (R1:英語学力調査のスコア1年70% 2年63%、英検2級合格者65名)
- (2) 国内にいながらにして国際交流を体験できるような様々な機会を提供する。
ア 海外からの学校訪問や留学生を積極的に受け入れ、日々の学習活動と関連をもたせ、国際交流の内容を深化する。
イ SDGs をテーマに、生徒の主体的な取組み及び国際交流の活動を学校全体で計画的に行う。
自己診断 95% (R1:生徒93.6%)
- 4 府内公立唯一の音楽科設置校として、国内最高の音楽教育を推進する
(1) 国や府の推進事業等を積極的に活用し、国内外のトップアーティストを招聘した特別レッスン、特別公開講座を実施する。
ア 国際舞台で活躍することを意識した特別レッスン、特別公開講座を取り入れる。
イ 一流の指揮者を招聘して、ザ・シンフォニーホールでの定期演奏会、音楽科25周年(令和2年)事業を企画・実現する。
(2) 生徒等の企画運営による学内演奏会やアウトリーチ活動を展開する。
ア 校内のヴィオーラホール等を活用して、また、近隣ホール・小学校、地域での音楽会を実施する。
(3) 国内及び海外の大学等と連携し、交流を促進する。
ア 大阪教育大学、台湾、オーストリア、ハワイの学校と交流を継続する。
- 5 広報活動の充実
(1) 上の1~4の中期的目標の成果を効果的に発信する。

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和 年 月実施分]	学校運営協議会からの意見

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 豊かな人間性の涵養と「自主・自律」の心を育む	(1) 基本的な生活習慣の確立、学業等へ主体的・協働的に取り組む。 (2) 安心安全で温もりのある学校づくり	ア 基本的な生活習慣を確立する。 ・あいさつ週間・遅刻週間の実施。 イ あらゆる教育活動において、人権感覚を育成する。 ・生徒向け人権学習の充実 ・教職員向け研修の実施 ・道徳教育の充実を図る。 ウ 学生自治を基本とした学校行事等の実施 エ 地域等との交流活動を実施する。 オ 教育相談体制を充実する。 ・教育相談、支援委員会の機能を充実する。 ・学年会や職員会議等において生徒情報を共有する。 ・食物アレルギー対応マニュアルを作成する。 カ 安心安全な教育環境の整備 ・生徒情報の共有やアンケートの実施により、いじめの早期発見・早期解決をめざす。 ・区役所等外部と連携した防災訓練や3SKに係る校内点検を実施する。(防犯・防災を含む危機管理体制の充実)	ア ・遅刻者数の減少 昨年度比 20%減 ・生徒向け学校教育自己診断における「あいさつ」の肯定率 95%以上 (R1:95.1%) イ ・人権学習等の事後アンケート肯定率 80%以上 ・教員向け学校教育自己診断における人権に関する項目の肯定率 90%以上 (R1:91.9%) ウ ・生徒向け学校教育自己診断における学校行事に関する肯定率 90%以上 (R1:93.3%) ・部活動に関する肯定率 85%以上 (R1:87.1%) エ ・交流活動回数 10回以上 (R1:10回) オ ・生徒向け学校教育自己診断における「先生に相談しやすい」の肯定率 80%以上 (R1:82.5%) ・教員向け学校教育自己診断における教育相談関連の項目の肯定率 85% (R1:85.7%) カ ・生徒向け学校教育自己診断における「いじめ」に関する項目の肯定率 85%以上 (R1:86.0%) ・実施内容、回数	
2 基礎学力を充実させ、「夢」や「志」を育み自己実現を達成できる力を養う	(1) カリキュラム・マネジメントを確立し、「確かな学力」を育成する。 (2) キャリア教育を推進し、進路目標を明確にし、実現につなげる。	ア 夕陽学委員会が中心となり、総合的な探究の時間「夕陽学」の完成をめざす。 イ 新学習指導要領を踏まえた教育課程を編制する。 ウ BYODに取り組み、「主体的対話的な深い学び」を充実する。 アからウを実現に組織的に取り組み、それぞれの授業改善につなげるとともに、働き方改革を推進する。 ア 系統的な進路指導の実施 ・学習支援クラウドサービスの有効活用 ・効果的な進路関係行事を実施する。 ・生徒の希望進路実現に向けた意識を高める。	ア、イ、ウ ・生徒向け学校教育自己診断における授業に関する項目の肯定率 80%以上 (R1:83.2%) ・教員向け学校教育自己診断における授業に関する項目の肯定率 95%以上 (R1:94.0%) ・授業アンケート 平均3.3以上 (R1:3.4) ・BYODに関するアンケートの肯定率 「課題設定、学ぶ力、主体性」 70%以上 「ICT活用、主体的対話的な深い学び」 80%以上 ア ・進路講座実施回数 H31 維持、 ・志望校決定率 60%以上 (R1:66.3%) ・国公立関西5私大(関関同立近大) 200名合格 (R1:268名) ・生徒向け学校教育自己診断における進路に関する項目の肯定率 80%以上 (R1:80.3%)	
3 国際的な視野を広げ、グローバルに活躍できる人材を育成する	(1) 多様性の理解と自身のキャリアデザインを考える。 (2) 国内にいながらにして国際交流を体験できる様々な機会を提供する。	ア 海外修学旅行、ウィーン音楽研修を実施する。 イ 英語の4技能をバランスよく育成する。 ア 海外からの学校訪問や留学生を積極的に受け入れ、国際交流の機会を充実する。 姉妹校：クラークスタウン北高校(アメリカ・NY)、鳳新高級中学(台湾) イ 国際交流の活動を学校全体で計画的に行う。 ・SDGsをテーマとした講演会を実施	ア ・事後アンケートにおける満足度 90%以上 イ ・英語学力調査のスコア(生徒の8割): 65% (R1:1年72% 2年63%) ・英検2級合格者: 40名 (R1:28名 12月現在) ・コミュニケーション英語の英語利用率: 50% (R1:40%) ア ・生徒向け学校教育自己診断における国際交流に関する肯定率 85%以上 (R1:93.6%) イ ・SDGsに係る取組や国際交流活動年3回 実施 (R1:3回) ・国際交流に係る生徒の取組人数 600人以上 (R1:1,000人)	
4 府内公立唯一の国内最高の音楽科設置校として、国内最高の音楽科教育を推進	(1) 国内外のトップアーティストを招聘した特別レッスン、特別公開講座を実施する。 (2) 生徒等の企画運営による学内演奏会やアウトリーチ活動を展開する。 (3) 国内及び海外の大学等と連携し、交流を促進する。	ア 国際舞台で活躍することを意識した特別レッスン、特別公開講座を実施する。 イ 一流の指揮者を招聘して、ザ・シンフォニーホールでの定期演奏会、音楽科25周年(2020年)事業を企画・実現する。 ア 校内のヴィオラホール等を活用して、また、近隣ホール・小学校、地域での音楽会を実施する。 ア 大阪教育大学、台湾、オーストリア、ハワイの学校と交流を継続する。	ア ・特別レッスン・公開講座の満足度 100% (R1:100%) イ ・事後アンケートにおける満足度 100% (R1:100%) ア ・校内、近隣ホール・小学校、地域での音楽会の実施回数 6回以上 (R1:6回) ア ・年間6回以上 (R1:6回)	
5 広報活動の充実	(1) 広報の在り方を検討する。	ア 1~4の中期的目標の成果を効果的に発信 ・広報戦略を検討する。 ・学校説明会の実施 ・「夕陽丘の風たより」の充実 ・夕陽丘マガジンの発行	ア ・広報戦略ワーキング ・中学生対象説明会等の本校生徒の参加数 200名以上 (R1:278名) ・掲示板 月1回更新 ・夕陽丘マガジンの発行(隔月1回)	